

NEWS GOPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

コンテンツ時代の幕開けか!? ネットスケープ社から「ネットセンター」、 凸版印刷から「ネットエージェント」が登場

最新技術や新しいソフトウェアの登場が話題の中心になりがちなインターネットに「コンテンツの時代」がやってくる! そんな予感をさせるニュースが国内と海外でほぼ同時に発表された。それが凸版印刷(株)の「ネットエージェント」とネットスケープ・コミュニケーションズ社の「ネットセンター」である。どちらもWWWというメディアで良質のコンテンツを配信し、これを大規模なビジネスとして確立するのが狙いというのが共通点だ。これらの新サービスがユーザーに何を提供し、インターネットにどのような影響を与えるかを検証してみよう。

編集部: 倉園佳三

コンテンツ配信システムが登場

凸版印刷側は10月より「ネットエージェント」事業を開始する。これは人気サイトの制作者である個人などと契約して、良質なコンテンツをプロバイダーに配信するというものだ。これまで、ウェブコンテンツに関連したビジネスといえば、「パナー広告」による広告収入やコンテンツ制作の受注料が利益の中心であった。しかし、「ネットエージェント」はコンテンツそのものに値段を付けて売買するという点で、まったく新しいビジネスモデルである。

三者三様のメリット

ネットエージェントの特徴は、これがうまく運用された場合、コンテンツの制作者、コンテンツを配信するプロバイダー、そして利

用者のすべてにとって、次のようなメリットがあるという点である。

制作者

契約によって契約金、開発費、開発環境などが得られるため、より良質のコンテンツを制作できる。また、コンテンツはプロバイダーが運営するサーバーに置かれるため、管理に費やす労力が軽減される。

プロバイダー

人気コンテンツを内部に置くことで自社の会員がこれにアクセスしやすくなり、他社との差別化が図れる。また、良質のコンテンツを探したり制作したりする必要がなくなる。

利用者

ネットエージェントがブランド化されれば良質のコンテンツを見つけやすくなる。

コンテンツでプロバイダーを選ぶ

これまでのウェブサイトは、いい意味でも悪い意味でも混沌としていた。映画にたとえるならスピルバーグ監督の制作したものと家庭用ビデオカメラで撮った子供の映像が同じ映画館で上映されるようなものだ。しかし、ネットエージェントの配信システムによって、プロバイダーが「買い付けたコンテンツ」とそうでないものとを区別して配信するようになれば、ユーザーが良質のコンテンツにたどり着きやすくなるはずだ。さらに、ある映画を見るためにAの映画館に行くように、あるコンテンツにアクセスしやすいからという理由でAというプロバイダーに加入するといったことが起こってくる。料金やアクセスポイント、接続速度などのプロバイダー選びの条件に「コンテンツ」が加えられる日は近いはずだ。

ただし、問題もある。はたして「良質のコンテンツ」とは何かということだ。どんなメディアでも必ず問題になるこの問いが、プロバイダーに投げかけられることになる。ヒットするコンテンツや時代のニーズにあったコンテンツを探し出す「センス」が、プロバイダーに要求されるということだ。さらに、それを作り出す制作者の発掘とサポートなど、クリアしなければならぬ点は数多くある。

ネットスケープ社の 新情報サービス開始

一方、米国ネットスケープ・コミュニケーションズ社からは、9月3日にウェブサイトを使った新しい情報サービス「ネットセンター」が発表された。1日に1億3500万回ものヒット数を持つ同社のウェブサイトを利用した新たなビジネスを展開しようというものだ。

内容は大きく3つのセクションに分かれる。1つは、登録した個人情報をもとにニュースなどの最新情報を配信する「Content」。インボックスダイレクトやネットキャスターのチャンネルファインダー、ネットスケープガイドフォーYahoo!に加えて、検索およびディレクトリーサービスを提供する「ネットスケープネットサーチ」と、ビジネス向けの業界ニュースを配信する「インダストリーウォッチ」が含まれる。

2つ目は、最新のテクノロジーやビジネストレンド、専門情報などを、ビジネスユーザー同士、あるいはビジネス団体や専門家団体の間で共有したり交換する場である「Community」。各分野の専門家によるフォーラムやチャット、掲示板が運営される。ここには「バーチャルオフィス」と呼ばれる仮想イントラネットサービスがある。これは、社内にイントラネットサーバーを置かずにネットセンターのウェブサイトから電子メールやコラボレーション、スケジュール管理、ウェブパブリッシングなどのサービスを利用できるというものだ。ネットスケープ社では「ウェブホスティングサービス」と呼んでいる。

3つ目はソフトウェアのアップデートや販売を行う「Software」。個人のソフトウェアの使用状況を登録しておけば、自動的にバージョンアップを管理してくれる「スマートアップデート」とネットスケープ社や他社の製品をウェブサイトから購入できる「ソフトウェアストア」が含まれる。

ネットセンター内で個人情報が必要なサービスにはベリサイン社のデジタルIDが使われる。また、日本語によるサービスの開始は97年末から98年初頭になる予定だ。

ソフトウェアの性能を 生かすためのコンテンツ

ネットセンターの狙いは、ソフトウェアの機能を100パーセント生かすための優れたコンテンツの提供ではないだろうか。ここには大きな「発想の逆転」があるように思える。

これまでの「WWWブラウザ戦争」は、ソフトウェアの機能をいかに高めるかの競争だった。しかし、ネットセンターによってネットスケープ社は、業界に「ソフトウェアの機能を使っていかに良質なコンテンツが見られるか」という挑戦状を叩きつけたのではないだろうか。もちろん、ダイナミックHTMLやJavaスクリプトを駆使したネットセンターのコンテンツすべてを利用するには、ネットスケープコミュニケーションズが必要になる。ネットセンターを利用するユーザーが多ければ、コミュニケーションはその人数分のシェアを獲得しつづけるのである。しかも、バーチャルオフィスをはじめとするネットセンターのさまざまなサービスは、同社のスイートスポットサーバー群によって管理されている。つまり、良質なコンテンツを提供することで、同時にスイートスポットの実力を証明するという宣伝効果も狙えるのである。

さらに進むコンテンツの時代

形こそ異なるが、コンテンツを最重要視した新しいビジネスを提唱するネットエー



ネットセンターのスタートページ。
URL <http://home.netscape.com/netcenter/>

セントとネットセンター。この2つがほぼ同時に発表されたのは単なる偶然かもしれないが、やはり何かの必然性を感じる。これまで、インターネットにおいては、多くの専門家や技術者がソフトウェアやプロトコル、帯域の問題など、数々のテーマに取り組んできた。しかし、ストリーミングなどの技術も含めて、インターネットは「本格的に使う」ことを考えてもいい段階に入ったのかもしれない。そして、ここにおいて、どんなメディアでもそうであったように「コンテンツ」こそがもっとも重要になるのは、明白だ。

コンテンツの配給システムやソフトウェアと密接に結びついたコンテンツの登場、加えて、電子マネーによる有料コンテンツの増加とあらゆる分野からのプロフェッショナルの参入。このような動きはますます増え続けるだろう。今後、コンテンツ制作者とプロバイダー、そして利用者という三者のパラダイムが大きく変化する可能性がある。

ネットスケープネットセンターのサービス

| Content | Community | Software |
|-------------|---|------------|
| チャンネルファインダー | バーチャルオフィス | スマートアップデート |
| インボックスダイレクト | プロフェッショナルコミュニティー (各分野の専門家によるフォーラムなど) | ソフトウェアストア |
| インターネットガイド | | |
| ネットサーチ | | |
| インダストリーウォッチ | | |



10月には日本語版もリリース BACK WEB 旋風年内に日本上陸か?



この目玉のようなマークを見て「ピン」とくる人がどれだけいるのだろう。実はこのマーク、アメリカではポイントキャスト社に次いで名の知れたプッシュの老舗「Back Web Technologies」のトレードマーク。どうやらその大きな目玉を日本に向けたようだ。

聞き手：編集部

Q：ポイントキャスト社はコンテンツのディストリビューターであると宣言し、広告収入をメインとしていますが、Back Web Technologies はどのようなビジネススタンスですか？

A：我々は企業向けのインターネット、イントラネット/エクストラネット用のサーバー販売を中心としたビジネスモデルを考えています。エンドユーザーは企業ということになりますね。

Q：ポイントキャスト社の日本でのサービス開始、WWW ブラウザーのチャンネルの標準化など、プッシュ型情報サービスの競争は厳しい状況に思いますが、日本での展

開は考えてますか？

A：今年の5月に日本を訪れたときにも感じたのですが、日本企業はイントラネットに対して非常に積極的であり、かつプッシュ技術にも高い関心があるようです。Back Webはインターネット、イントラネット/エクストラネット、ソフトウェアディストリビューションのすべてが提供でき、数十人から数万人の規模でも有効に使えるほどの拡張性があります。また、配信するコンテンツの作成も簡単にプログラミングができ、ビデオやオーディオファイル、HTML ページ、アプリケーションなどあらゆるファイルに対応できるので、社内情報や、社外にあ

る有益な情報をイントラネットでプッシュする、時代に適したソフトウェアだと思えます。日本市場への展開は、BACK WEBの日本語版を10月中に発表する予定です。また、年内には東京に拠点をおく準備も進めています。

Q：プッシュの将来は？

A：既存のWWW 情報をプッシュするというものも残るでしょうが、今後はインテリジェントプッシュというイベントごとに対応した、より細かい情報やデータのプッシュが主流となってゆくでしょうね。

URL <http://www.backweb.com/>



会長ニール・バックカード氏



副社長ウォレン・ベル氏



農業地域に情報スーパーハイウェイが登場？ 有線放送電話網を使ったxDSLの利用実証実験

2010年をめぐりに通信網を光ファイバー化することを推進しているNTTを横目に、有線放送電話網（農業電話）のメタルケーブル網を使い、数Mbpsという高速な通信をしようという実証実験が開始された。NTTとも関係なく、電気通信事業法にもよらないこの隠れたインフラは果たして地域振興の情報スーパーハイウェイとなり得るか？ 編集部

伊那xDSL利用実験連絡会は、長野県伊那市にある有線放送電話網「いなあいネット」を使って、xDSL 技術を使った実証実験を開始すると発表した。実験期間は9月1日からの1か月間だ。

「有線放送電話」とはあまり聞きなれない名前だが、歴史的には当時の電電公社（現在のNTT）の網が全国に整備される前に、農業地帯の通信システムとして農林水産省の助成によって作られたメタルケーブルを使った加入者回線網だ。経営の母体となるのは各地域の農業共同組合である。この回線の利用目的はその地域の情報を音声で流す「有線放送」で、特定の2点間

での1対1の「通信」として利用できる。

この実証実験の目的は、xDSLの技術的側面からの検証と実用化にあたっての諸問題点の検証である。xDSLは、メタルケーブルを使って数Mbpsという高速な通信ができる技術だが、テストベッドとなるメタルケーブル網の多くはNTTのインフラで、一般の技術者は簡単に実験をすることができない。そのため、技術的、運用的に興味があっても検証することができず、xDSLに対する評価はなかなか定まらなかった。今回の実験は、NTT やそれととりまく電気通信事業法とは関係のない有線放送電話網というメタルケーブル網を使って、この技

術を検証し、将来的には地域の情報化の基本的なインフラとしての可能性を探るところにある。

一般にxDSLはメタルケーブルの直径や束ね方、そして同じメタルケーブルを使うISDNとの干渉による性能の低下が指摘されているが、有線放送電話網の下ではISDNの通信はなく、しかもケーブルの直径は0.5mm以上のプラスチック絶縁ケーブルを使っていることなどから、xDSLの利用にとっては好条件になるのではないかと期待もされている。

ただ、具体的な事業化の計画はいまのところなく、事業化する場合も関係する省庁との関係も生じるため、その地域の人が希望すれば使えるようになるまではまだ時間がかかると思われる。

なお、実験結果については、期間終了後公開を予定しているとのことであり、本誌でも詳細をとりあげていく予定である。

Software CD-ROMの内容が 更新できる ディレクター6J発売

マクロメディアは9月12日に、アニメーションオーサリングツール「ディレクター6J」を発売した。新製品の特徴はCD-ROMのコンテンツの情報の一部分にリンク情報を埋め込むことでCD-ROMの内容の更新を可能にする「Shocked CD」で、価格は「Director6J Mac、Win95/NT」が168,000円。

問い合わせ ㈱アスキー TEL 03-5465-8665
㈱システムソフト TEL 092-752-5264
URL <http://www-asia.macromedia.com/jp/>



操作性も向上した「ディレクター6J」

Software アプリケーションの 配信ができるソフト 「カスタネット」発売

富士通は、米国マリンバ社が開発したアプリケーション配信ソフト「カスタネット」の日本語版を発売した。このソフトはインターネットおよびイントラネット経由でアプリケーションとコンテンツを自動的に配信し、クライアント側を常に最新の状態に更新するもの。これによりクライアント側で最新のアプリケーションやコンテンツを検索したり、インストールしたりする手間とコストを省けるのが特徴。サーバーソフト「トランスミッター」とクライアントソフト「チューナー」から構成されており、トランスミッターの価格は100ライセンスまでの場合で27万円。チューナーは同社のサイトから無料でダウンロードできる。

URL <http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/softinfo/>

Product 141万画素一眼レフ デジタルカメラを オリンパスが発売

オリンパスが一眼レフデジタルカメラを発売する。「CAMEDIA C-1400L」は2/3インチ141万画素CCDを内蔵し、3倍ズームレンズを採用、1,280×1,024ドットの高画質を実現した。10月10日発売で価格は128,000円。また、「C-1000L」は1/2インチ85万画素CCDで、1,024×768ドットのXGA画質を実現。11月中旬発売で99,800円。ともに記憶媒体にはスマートメディア(3.3ボルト)を採用した。問い合わせ オリンパス光学工業㈱
カスタマーサポートセンター TEL0426-42-7499



10月10日発売の
「CAMEDIA C-1400L」

Company トランス・コスモスらが インターネット広告会社 「ダブルクリック」設立

トランス・コスモス、NTT、NTTアド、米国DoubleClick社の4社は、ネットワーク型インターネット広告ソリューション事業を行う新会社「ダブルクリック」を合併で設立した。新会社は「DCJネット」(ダブルクリックジャパンネットワーク)を構築し、人気コンテンツサイトをネットワークで結び、これらのサイトを訪れるユーザーの関心に合わせた広告の配信などを行う。これにより広告主は、より効果的・効率的な広告を打つことが可能となる。資本金は1億8000万円で、出資比率はトランス・コスモスが56%、NTTが17%、NTTアド17%、DoubleClick社10%。社長にはトランス・コスモスの山村幸広取締役が就任した。

URL <http://www.doubleclick.net/>

Software イン트라ネットの コスト削減ソフトを マイクロソフトが発売

マイクロソフトは、統合型ウェブサイト構築・管理ソフトの日本語版2製品をオープン価格で発売した。主にイントラネットウェブアプリケーションに対応した「SiteServer2.0」と、インターネットコマースやエクストラネットへの拡張機能を加えた「Site Server, Enterprise Edition2.0」の2製品で、いずれも包括的な管理をすることでビジネスWebサイトの所有コストを削減することができるという。

問い合わせ マイクロソフト(株)インフォメーションセンター TEL 03-5454-2300



イントラネットの管理コストを削減する

Service 国際専用サービス 新会社設立に向け NTTが出資認可申請へ

NTTは9月10日、国際専用サービスを行う国際第一種電気通信事業会社への出資について、郵政大臣に対して認可申請を行った。新会社の目的はインターネットや多国籍企業などによる国際通信の需要に対し、二種事業者や企業ユーザー向けの国際通信サービスで、名称は「エヌ・ティ・ティ国際ネットワーク株式会社」。資本金200億円はNTTが全額出資する。事業の柱は国際間における高速デジタル専用線などのサービス提供で、サービス開始は1999年4月の予定。99年のサービスエリアは、アメリカ、イギリス、中国(香港を含む)、台湾、韓国、シンガポール、フィリピン、タイ、マレーシア、インドネシアで、情勢を見極めながら順次拡大していくという。

問い合わせ NTT国際本部国際企画・協力部門
TEL 03-5353-5035

Software ホームページ 自動巡回ソフト 「HIGHLIGHTS2」発売

Tierra Communications社(カナダ)は、ホームページ更新チェックソフト「HIGHLIGHTS2」を開発し、代理店を通じて日本語版を発売する。「HIGHLIGHTS2」は、ホームページに更新があればマーク表示で利用者に知らせ、モニターしたページをハードディスクに保存する。ウィンドウズ95、NT4.0用で、価格はパッケージ版が12,800円(オンライン価格は4,980円)。

問い合わせ (株)イー・アンド・イー
TEL 03-3364-5650

URL <http://www.e-e.co.jp/>



発売キャンペーン価格は9,800
円の「HIGHLIGHT2」

Software ツールバーが作れる 「ActiveBar」 文化オリエントが発売

ウィンドウズのアプリケーション開発支援ツール「PowerPlusシリーズ」を販売する文化オリエントは、ツールバーとメニューを手軽に作成できるActiveXコントロール「ActiveBar」を11月中旬に発売する。ActiveBarは、ツールバーの構成要素にオブジェクトモデルを採用して初心者でも簡単に機能を理解できるよう配慮した製品。ツールバー、メニューバー、ポップアップメニュー、タブ耳付きツールバーのスタイルをサポートし、レイアウト機能、最適化折り返し機能など豊富な機能によりツールバーとメニューを細部まで設定できる。

価格は38,000円。

問い合わせ 文化オリエント(株)
TEL 022-373-0360

URL <http://www.boc.co.jp/>

WWW ネットワーク運用の 情報交換を目的に JANOGが発足

インターネットにおける技術的事項、それに関するオペレーションに関する情報を交換、議論してインターネット技術者と利用者貢献することを目的としたグループが発足した。これは「the Japan Network Operators' Group (JANOG)」という非営利グループで、有志によって運営されている。ウェブサイトでの情報提供はもちろん、メーリングリストサービスも行っている。

参加者に制限はなく、インターネットの技術情報、オペレーション情報、その他、インターネットに関するあらゆる情報について議論、検討する意志のある人であれば誰でも参加できる。

URL <http://www.janog.or.jp/>

Product カシオがデジタルカメラ QVシリーズの新モデル2機種を発売

カシオ計算機はデジタルカメラの新機種「QV-70」と「QV-700」を発売する。価格はQV-70が38,000円、QV-700は75,000円。QV-70は従来のQV-11に比べて体積で67%、重量で88%の小型ボディを採用。1.8インチのTFTカラー液晶モニターに加えて光学ファインダーを装備している。CCDは25万画素を採用。2Mバイトのフラッシュメモリーで96枚撮影できる。近接撮影距離は最短で12cm。記録方式はJPEG形式。レンズの焦点距離は35mmカメラ換算で60mmに相当する。電池は単3アルカリ電池3本。専用のシールプリンター「DP-300」(25,000円)で印刷もできる。

QV-700は35万画素のCCDを採用。2.5インチのTFTカラー液晶を搭載している。2Mバイトの差し替え可能なフラッ

シュメモリーを標準装備し、標準で26枚、高品質で14枚、エコノミーで47枚撮影できる。最短近接距離は14cm。パソコン出力画素数は640×480ドット。内蔵ストロポは自動、強制、発光禁止が選択できる。単3アルカリ電池4本で駆動する。レンズは固定焦点でマクロ時は切り替え。記録方式はJPEG画像形式。レンズの焦点距離は35mmカメラ換算で38mmに相当する。

問い合わせ先 カシオ計算機(株)
TEL 03-3347-4811

URL <http://www.casio.co.jp/personal/dcamera/qv70new.html>



QVシリーズの
最上位機種「QV-700」

Product 著作権フリーの 1000点の写真素材集 HFSが発売

八戸ファームウェアシステム(HFS)は9月12日、1000点の写真が収録されたフリー素材集「写真素材1000」を発売した。価格は4,800円。640×480ドット、JPEG形式で72dpiの画像が880点、切り抜きパス付きPhotoshop形式で72dpiの画像が120点収録されている。同社では360dpiの画像が収録されたハイエンド向けの素材集「PHOTOMATERIAL」シリーズを発売しているが、今回発売されたのはその廉価版といえる。

問い合わせ 八戸ファーム
ウェアシステム(株)
TEL 011-702-6681
URL <http://www.hfs.co.jp/>



イメージや風景など、さまざまな写真を収録

Software マイクロソフトが「Office 97」新機能追加ツールを配布

マイクロソフトは「Microsoft Office 97」ファミリー製品の正規ユーザーを対象に、不具合を修正し、Office97に新機能を加えてリニューアルした「Microsoft Office 97 Service Release 対応版」を、10月17日より順次配布する。サービス期間は10月17日（金）から1月31日（土）で、FAX また郵送にて申し込みを受け付ける。

Office 97 Service Release 事務局
〒332 埼玉県川口市本町4-1-8
FAX 048-226-5511

申し込み用紙は同社のホームページまたはFAX 情報サービス（FAX 03-5454-8100 FAXBOX 番号 # 027500）で入手できる。問い合わせ マイクロソフト(株) インフォメーションセンター TEL 03-5454-2300

Software 「BizTech」がプッシュ型サービス情報を提供開始

日経BPが運営するホームページ「Biz Tech（<http://www.nikkeibp.co.jp>）」は、日本IBMがインターネット上で提供するプッシュ型のニュース速報閲覧サービス「IBM NewsTicker サービス」に見出しの提供を開始した。これで「IBM NewsTicker サービス」はロイター、共同通信と合わせて3社のニュースを配信することになる。「IBM News Ticker サービス」ではヘッドラインのみを提供し、流れているヘッドラインをクリックするとBiz Techの本文へリンクするようになっている。

URL http://www.ibm.co.jp/News/leads/970123/dl_prog.html



電光掲示板のようにニュースが見られる

Service インターネット利用の防災気象情報サービス「防災の日」より開始

日本気象協会とNTTラーニングシステムズ、NTTは、気象庁の協力を得て、ウェブでの防災気象情報提供サービスを9月1日の「防災の日」から開始した。ウェブでは全国警報、注意報の一斉表示や地震、津波警報などの多種の詳細情報を掲載する。情報料は無料。また、全国の天気予報のメール配信サービスもウェブ上で申し込みめる。

URL <http://www.tenki.or.jp/>



無料で天気の情報が見られる

Service 飛行機の座席の予約や空席確認が世界中からできる

ブリティッシュ・エアウェイズは、インターネットを通じて世界中どこからでも空席状況や座席の予約ができるサービスを開始した。インターネットでの航空券の購入や決済方法は国によって異なるが、日本では、予約した航空券は最寄りのブリティッシュ・エアウェイズのチケットカウンターで購入することができる。

URL <http://www.british-airways.com/>



「Flights」メニューで目的の便をチェック

Event JPNICが「Internet Week '97」12月に横浜で開催

IPアドレスの割り当てやドメイン名の登録・管理業務を行っているJPNICが、12月16日から19日の4日間、神奈川県のパシフィコ横浜で「Internet Week '97」を開催する。この催しは日本のインターネット環境について議論や情報交換を行うもので、わが国のインターネットのリーダーシップを担ってきた専門家が数多く参加するという。参加申し込みはインターネットで行える。

URL <http://www.nic.ad.jp/>



JPNICのホームページ

Product 9画面同時にページを表示するマルチブラウザー

デジタルアーツは最大9画面同時にホームページを表示するソフト「マルチブラウザー」を発売した。同ソフトはクリックしたメインウィンドウのリンク先のデータをサブウィンドウで読み込むというもの。こうしていくつかのページをサブウィンドウで読んでいる間にメインウィンドウを見ることができる。インターネットエクスプローラ3.0以上、ネットスケープ3.0以上に対応する。

問い合わせ デジタルアーツ(株)
TEL 03-5485-1334



最大8画面を同時に見ることができる

Product アライドテレシスが
SOHO用ルーターを発売
OCN・ODNに対応

アライドテレシスはSOHOから中規模事業所に適したマルチプロトコル・ルーター「Centre COMAR300」を発売する。10BASE-T、ISDNポートを各1ポート、アナログを2ポートを装備しており、アドレス変換機能による端末型接続とLAN型ダイヤルアップ接続、専用線とOCN、ODNによる常時接続に対応する。価格は128,000円。

問い合わせ アライドテレシス(株)
TEL0120-860442
URL <http://www.allied-teleasis.co.jp/>



電源を内蔵してB5版というコンパクトな筐体

Music ネットワーク上の音楽著作権で
適正な許諾ルールの確立を
目指し連絡協議会が発足

日本におけるネットワーク上の音楽著作権使用に関する許諾ルールの確立を目指して「ネットワーク音楽著作権連絡協議会」が発足した。インターネットなどを活用したコンテンツ配信事業での音楽利用機会が増大しているにもかかわらず、適正な音楽著作権使用規定が定められていない現状に対応したもので、参加団体は9月1日現在で音楽電子事業協会、マルチメディアタイトル制作者連盟、日本レコード協会、テレコムサービス協会、電子ネットワーク協議会、日本インターネット協会、日本地域プロバイダー協会の7団体。今後、他の関連する団体へも参加を呼びかけていく予定。

問い合わせ
ネットワーク音楽著作権連絡協議会事務局
TEL03-5275-9011

Software ホームページ作成ツール
「Cool Café!」
イー・エム・アールが発売

イー・エム・アールは、JAVAアプレットを利用してアニメーションの自動生成や音の再生が行えるホームページ作成ツール「Cool Café!」を発売した。HTMLエディター、JAVAマジック、画像エディター、ホームページ用素材集などを統合した作成ツールで、HTML言語やJAVA言語などの専門知識がなくても手軽にアニメーションなどを使用した表現力豊かなホームページを作成できる。価格は16,800円。

問い合わせ エー・エム・アール(株)
TEL 03-3265-6161



JAVAアプレットによるアニメーションも簡単にできる

Service デジタルスタジオPadが
インターネット上の放送を
告知するメールを配信

デジタルスタジオPadでは、10月1日にインターネットを使ったビデオ放送局「インターネットTV」を開設する。これに先立ち、インターネット上で行われるライブ放送・生中継などのイベントを紹介する電子メールサービス「インターネットTVニュース」を9月1日から配信を開始した。サービスの申し込みはホームページから行える。

URL <http://www.itv.ne.jp/>



放送する番組がメールで事前に分かる

Product ビレッジセンターが
ウィンドウズCE用の
エディターを発売

ビレッジセンターはウィンドウズCEに対応したテキストエディター「Pocket WZ Editor for Windows CE」を発売する。価格は4,800円。同ソフトはウィンドウズ95用エディターで有名なWZ Editorの開発ノウハウを元にCE用に新しく開発したもの。インターネット利用に便利な機能として、メール作成支援機能がある。メール文章の入力において、1行ごとに改行を入れる文章の作成を自動化できる。また、字下げや箇条書き、中央揃えを使って、体裁の整った文章も作成できる。さらに、段落を自動的に認識して改行を意識しない編集も自然に行える。

問い合わせ (株)ビレッジセンター
TEL 03-3221-3525
URL <http://www.villagecenter.co.jp/>

Commerce ネットスケープが
ベリサインの
デジタルIDを導入

ベリサイン社とネットスケープ・コミュニケーションズ社は9月3日、ネットスケープ・ネットセンターのメンバーに対して発行されるデジタルID「ベリサイン・ウェブパスID」の導入を発表した。「ウェブパスID」はメンバーがネットスケープ・ネットセンター内でプライバシー情報にアクセスする場合のセキュリティ機能。ネットスケープ・ネットセンター内で利用できるサービスにベリサインのデジタルIDを提供することで、利用者は高レベルのエンドユーザー証明書を所有してデジタル署名や電子メールの暗号化ができるようになるという。

URL <http://www.verisign.co.jp/>
URL <http://home.netscape.com/ja/>

Technology 家庭用テレビで ウェブを閲覧できる Navio が試験に成功

インタラクティブケーブル通信は、米国のナビオ・コミュニケーションズ社と共同で家庭用のテレビを使いインターネットのホームページを閲覧するソフト「Navio TVNavigator」を、双方向のケーブルテレビネットワーク上で利用する試験に成功した。今回の試験は、同社が横浜市金沢区で実施中のケーブルテレビ経由の高速インターネット接続サービスを通じて行われ、ネットワークに一切手を加えずに、家庭用のテレビでWWWの閲覧ができることが証明された。これに伴い、9月から同社は金沢区内の数百の家庭に端末を配置して、年末までに接続サービスを開始する予定。

URL <http://www.navio.com/>

Education こねっと・プランが 学校で活用できる データベースを提供

教育現場におけるマルチメディア利用の促進を図るこねっと・プラン推進協議会（会長：池田茂NTT常務取締役）は、学校の授業で活用できる身近なテーマに関するデータベースの提供を目的に「ショート・ショートプロジェクト」を開始した。同プロジェクトは、学校でのカリキュラムや学習時期に合わせた身近なテーマの募集や決定を行い、広く一般の小・中・高等学校などからインターネットを利用して調査に参加してもらい、その集計結果をホームページ上で紹介し、データベースのダウンロードやその加工を可能とすることで、授業などに活用してもらおうというもの。テーマはホームページ上で募集する。

URL <http://www.wnn.or.jp/wnn-s>

Product エー・アイ・ソフトの WebWhackerが バージョンアップ

エー・アイ・ソフトはホームページ自動録画ソフトの「Web Whacker Ver.2 for Windows」をバージョンアップして、「Web Whacker Ver.2.1」として発売する。機能強化点は、ダウンロードしたページの自動印刷機能や、自動アップデート機能など。価格は11,800円。初回10,000本に限り8,800円。「Ver.2」の登録ユーザーは無償でバージョンアップできる。

問い合わせ先 エー・アイ・ソフト(株)
TEL 03-3376-7122

URL <http://www.aisoft.co.jp/>



接続料金を節約できる録画ソフト

Product CCDカメラと ソフトのパックを 1万円以下で発売

デジタルインフォメーションテクノロジーは、キャプチャー機能付きPCカメラと関連ソフトのパッケージ商品「デジタルPCカメラ『DI-CAM001』ボーナスパック」を発売する。DI-CAM001はパラレルポートに接続するだけでカラー画像が取り込める小型カメラで、これにTV会議ソフトや画像編集ソフトなどが収録されたCD-ROMを付けてオープンブライス（参考価格9,800円）で発売する。

問い合わせ デジタルインフォメーションテクノロジー(株) TEL 03-5350-2855



小型ビデオカメラ「DI-CAM001」

Service 金券ショップ情報 「チケットサーフィン」 サービス開始

事務用品、日用品販売のジー・エイチ・アールは、金券ショップの航空券、乗車券、興業チケットなどの情報をWWWで提供する「チケットサーフィン」のサービスを10月から開始する。金券ショップの加盟を有料で募り、各ショップの所在地や、商品リスト、販売や買い取り価格などの情報を無料で提供するもの。欲しい金券のあるショップの検索もできる。

URL <http://www.ghr.co.jp/>



テレホンカードなどの価格情報も豊富

Apple アップルが ネットワークソフトの 最新バージョンを公開

アップルは、ファイルサーバーとプリントサーバーの機能を提供する「Apple Share」の最新バージョン「AppleShare IP 5.0」と、遠隔地から電話回線を使ってマッキントッシュにアクセスできる「Apple Remote Access (ARA)」の最新バージョン「Apple Remote Access 3.0」を公開した。どちらもTCP/IPに対応し、AppleShare IP 5.0にはウェブサーバー、FTPサーバー、メールサーバーの3つのサーバー機能が追加された。価格は5クライアント版が110,000円となり、ほかに50クライアント版（180,000円）と250クライアント版（250,000円）がある。Apple Remote Access 3.0は、クライアント版（9,800円）とパーソナルサーバー版（30,000円）の2種類が提供される。

URL <http://www.apple.co.jp/>

Product NECが
初心者でも使いやすい
TAボードを発売

NECは、ISDNターミナルアダプターボード「Aterm IB55Pro」を発売する。従来の「AtermIB55Pro」に加えて、ウィンドウズ95では初心者でも簡単に組み込めるようにインストールソフトを添付し、ウィンドウズNT4.0では同期通信と非同期通信を別々の相手と接続できる剥離通信機能をサポートするなど、各種の機能を強化した。また、電話をかけなくてもメールが着信したかどうか分かる「メール着信通知機能」、128Kbpsでの通信をする際に回線のトラフィックに応じて接続速度を切り替えるBOD機能がウィンドウズNT上で使えるようになった。

問い合わせ 日本電気(株)NECパーソナルコミュニケーションインフォメーションセンター
TEL 0120-361138

Service TBSブリタニカが
ニュースウィークの情報を
ウェブ上に掲載

TBSブリタニカは同社のウェブ上でニュースウィーク日本版の情報を掲載するサイト「Newsweek Japan Online」を9月18日から開始した。同サイトではニュースウィーク日本版の本誌記事全文を公開。1ページの広告と併せて無料で記事を読めるようにする。1997年1月以降の記事群から検索できるデータベースも提供。また、ニュースウィーク日本版の定期購読者にはIDが発行され、広告を見ないで記事が読める。

URL <http://www.nwj.ne.jp/>



ニュースウィークの全文が読める

Service 電子メールによる
プレスリリース配信
伊藤忠など3社で開始

伊藤忠商事とクリエイティブ・リンクは、広報専門会社のオズマピーアールと提携し、内外のコンピュータ関連企業が発表するプレスリリースを国内の報道機関向けに電子メールで配信する新サービス「プレスリリースエクスプレス」を開始した。これにより報道機関の記者や編集者は、必要なジャンルのプレスリリースを発表と同時にデジタル情報で入手できる。また、ニュース配信の24時間後には一般ユーザー向けにホームページ上でも公開する。さらに、海外進出を計画する企業向けには、クリエイティブ・リンクが提携する米国GINA社の「GINA INTERNETWIRE」を通じて英文ニュースリリースを配信する。

URL <http://www.nihon.or.jp/pre>

Service サン電子がパチンコの
各台端末機器で
JTBの旅行情報を表示

パチンコ店向け専用コンピュータシステムを製造販売しているサン電子は、パチンコ店内の遊技台ごとに設置される各台情報端末機器からJTBの協力を得て旅行情報を表示させる実験を7月から開始した。情報端末はイントラネットにつながっており、日本交通公社(JTB)のホームページ内のTravel Japan Site (<http://ns.jtb.co.jp/TJsite/index.html>)を定期的にインターネットからダウンロードして、パチンコホール内のウェブサーバーに記憶させておき、情報端末と通信してデータを表示させる。テスト運用を行うのは、モナミ商事の瀬戸店。

問い合わせ サン電子(株)
TEL 0587-55-1137

Technology エージェント技術で
ページ情報の管理
IBMが「WBI」を提供

IBMは、WWWの情報を簡単に入手、配布、管理できるソフトウェア・エージェント技術「WBI」(Web Browser Intelligence:ウェッピィ)と、関連サービスの提供を開始した。WBIはWWWブラウザとWWWサーバーの間で独立した仲介機能を提供するソフトウェア技術で、このエージェント機能により、ユーザーの好みをきめ細かく取り入れたWWW情報の管理が実現できる。また、これまでアクセスしたサイトをアクセス頻度と最終アクセス日時の順に並べて記録することも可能。IBMでは、WBIを企業向けにライセンス提供するが、個人向けの「WBI Personal Web Agent」は同社のサイトから無償ダウンロードできる。

URL <http://www.netwaorking.ibm.com/iag/iaghome.html>

Event インターネットでの
バードウォッチング
NTTが10月から開催

NTTは、国際的な野鳥保護団体バードライフ・インターナショナル(BLI)、財団法人日本野鳥の会の協力で「NTTワールド・バード・アカウント」を10月1日から1か月間開催する。これは世界各地で観察された野鳥の種類、観察方法やエピソードなどを、ファックスや電話や電子メール、インターネットを通じて報告し、ホームページなどで公開するバードウォッチング大会。報告された野鳥1種類につき1,000円をBTIに寄付する。

URL <http://www.wnn.or.jp/wnn-n/w-bird/>



フォトコンテストも実施されている

Event イベントカレンダー(1997年10月~1998年1月)

カレンダーの日程はあくまでも予定です。お出
かけの際は、問い合わせ先へお確かめください。

国内

| 開始日 | 終了日 | 名称 | 概要 | 開催場所 | 主催・問い合わせ先 |
|--------|--------|---|--|--|--|
| 10月6日 | 10月10日 | エレクトロニクスショー '97 URL http://www.jesa.or.jp/jes/ | オーディオ、ビジュアル関連、マルチメディア 関連の機器や部品、デバイスなどの展示会。 | 日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 | 主 社団法人日本電子機械工業会(EIAJ) 関 日本エレクトロニクスショー協会(JESA) Tel. 03-5402-7601 Fax. 03-5402-7605 ☎ info@jesa.or.jp |
| 10月17日 | 10月19日 | 女性のための ネットワーキングフェア '97 URL http://www.nikkei.co.jp/events/nwf/ | パソコンやネットワークを活用した新しいライ フスタイルの創造を提案するための展示会。 | パシフィコ横浜 神奈川県横浜市西区みなとみらい11-1-1 | 主 横浜市、日本経済新聞社 関 「女性のためのネットワーキング・フェア」事務局 ☎ nwf@nikkei.co.jp |
| 10月28日 | 10月31日 | プレゼンテーションツール トレードフェア '97 URL http://www.nikkan.co.jp/eve/presen97.html | プレゼンテーションやDTP、デジタルコンテン ツなどに関する展示会。 | 東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1 | 主 日刊工業新聞社 関 日刊工業新聞社事務局イベント部 ☎ j910387@tky.nikkan.co.jp |
| 11月4日 | 11月7日 | COM JAPAN 1997 URL http://www.jeida.or.jp/event/newcom.html | 情報と通信に関する総合展示会。 | 東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1 | 主 通信機械工業会、社団法人日本電子工業振興協会、 社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 関 COM JAPAN 幹事事務局 Tel. 03-5405-7356 Fax. 03-3433-2003 |
| 11月12日 | 11月14日 | MST '97 (マイコンシステム&ツールフェア) URL http://www.jasa.or.jp/mst97.html | 「エンベデッドテクノロジー」を取り上げて開催 される唯一のイベント。 | 東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1 | 主・関 社団法人日本システムハウス協会 Tel. 03-3668-3151 Fax. 03-3668-2197 |
| 11月12日 | 11月14日 | 国際放送機器展 '97 URL http://www.jesa.or.jp/BEE/ | 音と映像のプロフェッショナル展。放送関連、 CATV関連、プロオーディオ機器などの機材が 多数出展される。 | 日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 | 主 社団法人日本電子機械工業会 関 日本エレクトロニクスショー協会(JESA) Tel. 03-5402-7601 Fax. 03-5402-7605 |
| 11月12日 | 11月14日 | Windows NT INTRANET Solutions Tokyo '97 URL http://www.sbfforums.co.jp/wntis.htm | ウィンドウズNTやイントラネット関連のハード ウェアやソフトウェア、周辺機器などの展示会 とコンファレンス。 | 日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 | 主・関 ソフトバンクフォーラム株式会社 Tel. 03-5642-8433 Fax. 03-5641-4617 |
| 11月26日 | 11月28日 | Digitalmedia World - NICOGRAPH '97 / MULTIMEDIA '97 & DIGITAL CONTENTS FESTIVAL '97 URL http://www.nikkei.co.jp/events/digital-mw/ | 3次元CG制作やマルチメディアコンテンツ制作 に関するツール、制作環境を構築する技術 などの展示会。 | 日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 | 主 財団法人マルチメディアコンテンツ振興協会、日本 経済新聞社、マルチメディア・タイトル制作者連盟 関 日本経済新聞社事務局総合事業部 Tel. 03-5255-2847 Fax. 03-5255-2860 |
| 12月3日 | 12月5日 | INTERNET COMMERCE EXPO / TOKYO URL http://www.idgexpo.com/ | 「企業情報システム」をテーマとしたイントラ ネット、エレクトロニックコマース、セキュリ ティなどの展示会とコンファレンス。 | パシフィコ横浜 神奈川県横浜市西区みなとみらい11-1-1 | 主 IDGワールドエキスポジャパン 関 ICE統括事務局 Tel. 03-5276-3751 Fax. 03-5276-3752 |
| 12月3日 | 12月5日 | Web T3/Tokyo '97 URL http://www.idgexpo.com/ | Webマスターのための最新テクノロジーやツ ール、ホームページ構築テクニックを紹介する展 示会とコンファレンス。 | パシフィコ横浜 神奈川県横浜市西区みなとみらい11-1-1 | 主 IDGワールドエキスポジャパン 関 Web T3統括事務局 Tel. 03-5276-3751 Fax. 03-5276-3752 |
| 12月9日 | 12月12日 | SEYBOLD SEMINARS TOKYO 97 URL http://www.sbfforums.co.jp/seybold/ | 「真デジタル パブリッシング宣言」をテーマに、 最新テクノロジーやツールを兼ねたコンファレン スと展示会。McN コンファレンスと同時開催。 | 日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 | 主・関 ソフトバンクフォーラム株式会社 Tel. 03-5642-8313 Fax. 03-5641-4617 |

海外

| 開始日 | 終了日 | 名称 | 概要 | 開催場所 | 主催・問い合わせ先 |
|--------|--------|--|---|--|--|
| 9月8日 | 9月11日 | Internet Commerce Expo URL http://www.idg.com/ice/icela97/ | EC関連の総合展示会、イントラネットやセキュ リティ、ウェブマーケティングなどの話題多数。 | Los Angeles Convention Center Los Angeles, CA, USA | 関 IDGワールドエキスポジャパン Tel. 03-5276-3751 Fax. 03-5276-3752 |
| 9月29日 | 10月3日 | Seybold San Francisco 97 URL http://www.seyboldseminars.com/ | コンピュータやインターネットが、CGや印刷、 出版、広告などにもたらす変化と新たな可能 性に焦点をあてたコンファレンスと展示会。コ ンファレンスは29日から、展示会は1日から。 | Moscone Center San Francisco, CA, USA | 関 ソフトバンクフォーラム株式会社 Tel. 03-5642-8313 Fax. 03-5641-4617 |
| 11月17日 | 11月21日 | COMDEX/Fall '97 URL http://www.comdex.com/ | 世界最大のコンピュータ関連の総合展示会。 | Las Vegas Convention Center Las Vegas, NV, USA | 関 ソフトバンクフォーラム株式会社 Tel. 03-5642-8313 Fax. 03-5641-4617 |
| 12月8日 | 12月12日 | Fall Internet World '97 URL http://events.internet.com/fall97/ | インターネット関連の総合展示会。 | Jacob K. Javits Convention Center New York, NY, USA | 関 Mecklermedia Corporation Tel. +1-203-226-6967 Fax. +1-203-454-5840 ☎ info@mecklermedia.com |
| 1月6日 | 1月9日 | MACWORLD Expo San Francisco '98 URL http://www.mha.com/macworld/mw98/index.html | マッキントッシュ関連のハードウェア、ソフト ウェア、周辺機器などの展示会。 | Moscone Convention Center San Francisco, CA, USA | 関 IDGワールドエキスポジャパン Tel. 03-5276-3751 Fax. 03-5276-3752 |
| 1月15日 | 1月17日 | Internet Shopper Expo '98 URL http://events.internet.com/shopper98/shopper.html | インターネットを使って商品を販売するSOHO ユーザー向けの展示会とコンファレンス。サイ ト管理や営業のノウハウ、ページデザインなど。 | The World Trade Center Boston, MA, USA | 関 Mecklermedia Corporation Tel. +1-203-226-6967 Fax. +1-203-454-5840 ☎ info@mecklermedia.com |
| 1月20日 | 1月22日 | COMDEX/PacRim '98 URL http://www.comdex.com/ | コンピュータ関連の総合展示会とコンファレン ス。 | Vancouver Trade and Convention Center Vancouver, BC, Canada | 関 ソフトバンクフォーラム株式会社 Tel. 03-5642-8313 Fax. 03-5641-4617 |



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp